

わが国の医療政策とNCを取り巻く環境と課題

	機 会	脅 威
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">環 境</div> <div style="text-align: center;">N C</div> </div>	<p><u>医療政策上の機会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノベーション促進の機運 ・医療機能の分化の促進 <p><u>NCの直面する機会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非公務員型独法化による産学との連携の促進 	<p><u>医療政策上の脅威</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の更なる進展 ・医師確保難など地域医療の脆弱化 ・NCの医療・研究の成果の政策への取り込みが不十分 <p><u>NCの直面する脅威</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政基盤脆弱化のおそれ ・絞り込めていない総花的医療・研究 ・優秀な人材の確保難のおそれ ・大学等との競合の熾烈化 ・地域医療との連携の弱さ
強 み	N C の 主 な 課 題	
<ul style="list-style-type: none"> ・特定分野の患者集積性が高い ・特定分野の専門家集団 <p>研 究：組織力・継続性 医 療：豊富な臨床実績 人材育成：特定分野について診療・研究の厚い指導体制 情報発信：特定分野についての総合的な情報提供</p>	<p>基本的方向性 <u>政策医療の牽引車</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床研究の推進 ・医療の均てん化等の推進 ・政策医療の総合的かつ戦略的な展開 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>先駆的医療等の研究</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果を継続的に生み出していくために「医療研究センター」的仕組みの構築 ・ NCの強みを活かして、研究開発の「主導的役割」を担い、産学等との連携を図った医療クラスターを形成 ・ 基礎研究成果と臨床研究との連携を図る観点から、TR（トランスレーショナルリサーチ）を推進 ・ また、研究開発を推進するためのNC内での資源の重点化と研究基盤（データバンク等）の整備 ・ 在宅医療等のモデル医療などの手法の開発 ○ <u>医療の均てん化</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都道府県の中核的医療機関とのネットワークを構築する等、医療の均てん化の道筋を確立 ・ また、均てん化の評価手法を開発し、情報の収集・分析を行い、開発した評価を実施 ○ <u>人材育成</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外の人材ネットワークの拠点となるよう、指導的な研究者や臨床家を指導する者の育成 ・ 世界レベルの人材を輩出できるよう、戦略的に精鋭の養成 ○ <u>情報発信</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国民が適切な医療の選択が可能となるよう、患者本位、地域の医療機関本位の情報を発信 ○ <u>政策提言</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究、医療の均てん化等に取り組む中で明らかになった課題等を踏まえ、医療水準の向上につながる政策提言機能の発揮 	
弱 み		
<ul style="list-style-type: none"> ・特定分野に専門分化したことによる低い総合力 ・研究成果と臨床応用との連携が弱い <p>研 究：・医学外の集学的研究体制が弱い ・企業との連携が未成熟 医 療：・都道府県等との連携が弱い ・医療提供の「支援・指導者」としての位置づけが未成熟 ・データの蓄積・分析が不十分 人材育成：医療と研究のキャリアパスが未成熟 情報発信：社会的情報発信が弱い</p>		